EPSON ScanPalette
操作マニュアル

4020023-00

目次

本文中のマークと表記について

マークについて

本文中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークがついている記述は必ずお読みください。

注意 操作にあたって注意すべき事項です。

メモ 操作にあたって知っておくと便利な事項です。

参照：関連のあるページを表示します。

表記について

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® NT® operating system Version 4.0 日本語版

本文中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows NT4.0 と表記しています。また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows NT4.0 を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98/Me」のように、Windows の表記を省略することがあります。

画面について

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

商標等の表記

Microsoft、WindowsおよびWindowsNTは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

ScanPaletteの概要

ScanPaletteは、画像ファイルのサムネイル（小画面）を作成して表示することにより、画像ファイルを整理したり閲覧したりする画像ファイル管理用のユーティリティです。
Windowsのエクスプローラの操作性を継承しており、フォルダ内の画像の管理が簡単に行えます。

他のアプリケーションとの連係

ScanPaletteから画像をドラッグ＆ドロップするだけで、ワープロソフトや画像編集ソフトなどのアプリケーションへ画像を手軽に貼り付けることができます。サムネイル一行分のウィンドウサイズで表示させせることができるので、文書に多くの画像を連続して貼り付けるときなどに操作が簡単に行えます。
ScanPaletteは以下の画像フォーマットに対応しています。

・サーバスキャンフォーマット
・マルチページTIFF
・BMP
・JPEG（Exif）
・PCX
・TIFF（カラーおよびグレースケール画像の場合、圧縮形式には対応していません）
・WMF

スキャナとの連係

サーバスキャンフォーマットに対応

EPSON独自の画像フォーマットであるサーバスキャンフォーマットに対応しています。
サーバスキャンフォーマットの画像は、表示・編集できないソフトウェアがあります。ScanPaletteのファイル変換機能を使うと、他のソフトウェアで表示・編集できる一般のフォーマットに変換することができます。

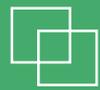
TWAIN対応

ScanPaletteからTWAINを起動して、EPSON ESシリーズのスキャナから画像を取り込むことができます。
TWAINのプレビュー画面上で複数の取り込み枠を指定した場合には、複数の取り込み枠を連続して取り込みます。
また、オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）装着時に、サーバスキャンにより取り込んだ画像には、天地の向きが逆転しているものが含まれる場合があります。ScanPaletteでは、天地の逆転した画像に回転を加え、すべての画像の向きを揃えて保存することができます。
OSによっては、スキャナのスキャナビボタンでScanPaletteを起動して、画像を取り込むことができます。

ScanPalette の動作環境

ScanPalette は次の環境で動作します。

OS		Windows 95 OSR2以降/98/Me、Windows NT4.0 Workstation/2000 Professional ・Internet Explorer 4.0 以上が必要です。 ・Windows NT4.0は、Service Pack 3以上が必要です。
表示	解像度	800 × 600ピクセル以上
	色数	High Color (16bit) 以上
メモリ		32MB以上
ハードディスク		100MB以上の空き容量 画像ビューのためには、画像ファイルの2倍以上の空き容量が必要です。
対応スキャナ		EPSON ESシリーズ

ScanPalette はサムネイル情報を 1 つのファイルで管理するため、異なるコンピュータからネットワーク経由で ScanPalette を起動して使用することはできません。
異なるコンピュータの画像ファイルを管理する場合は、ScanPalette をそれぞれのコンピュータにインストールして使用してください。

スキャナとの連係機能

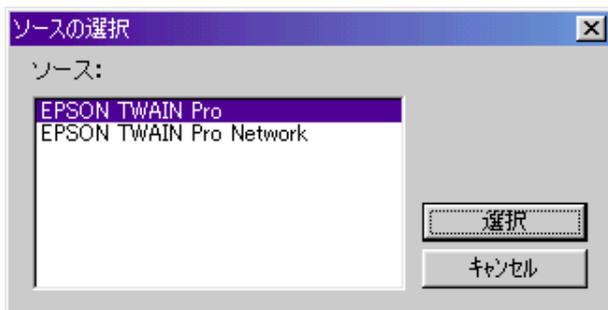
スキャナからの取り込み

ScanPaletteは、TWAIN機器からの取り込みに対応しています。ScanPaletteからの操作で、EPSON ESシリーズのスキャナから画像を取り込むことができます。
ここではScanPaletteの操作だけを説明しています。TWAIN機器の操作については、お使いのスキャナに付属している取扱説明書をご覧ください。

操作方法

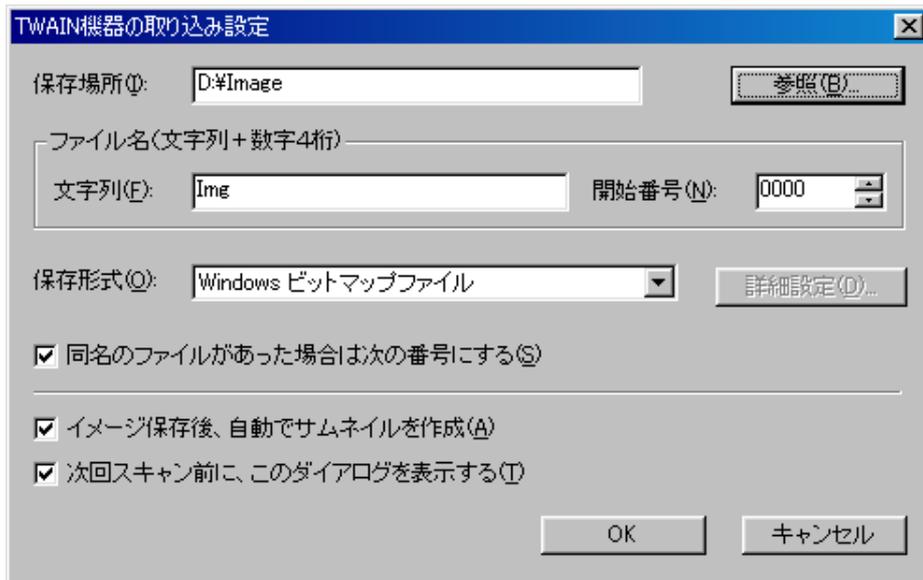
TWAIN機器から画像を取り込む方法を説明します。

1 ［ファイル］メニューから［TWAIN機器の選択］を選択します。

TWAIN機器を選択するダイアログが表示されます。ダイアログには、使用できるTWAIN機器の一覧が表示されます。

2 使用する機器を選択し、［選択］ボタンをクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［TWAIN機器からの取り込み］を選択します。

［TWAIN機器の取り込み設定］ダイアログが表示されます。

❹ 画像の取り込みに関する設定を行います。

保存場所

取り込んだ画像を保存するフォルダを指定します。［参照］ボタンをクリックして表示されるダイアログから選択できます。

ファイル名（文字列＋数字４桁）

文字列

ファイル名（固定部分）を指定します。
ここで指定した文字列＋４桁の連番がファイル名となります。
画面例では、次のようになります。

Img 0000.xxx
固定部分 ４桁の連番 .拡張子

メモ 文字列には、次の文字は使用できません。
/ : ; . , * ? ” < > |

開始番号

取り込んだ画像を保存するファイル名の、連番部分の開始番号を指定します。
0000～9999 の範囲で指定できます。

メモ 保存場所、文字列、開始番号、ピリオド、拡張子の合計が、半角で 245 文字以内になるようにしてください。

保存形式

保存するファイル形式を指定します。選択できる形式は、以下のとおりです。( ) 内は拡張子です。

- ●マルチページ TIFF（TIF）
- ● TIFF（TIF）
- ● JPEG ファイル（JPG）
- ● Windows ビットマップ（BMP）
- ● PCX（PCX）

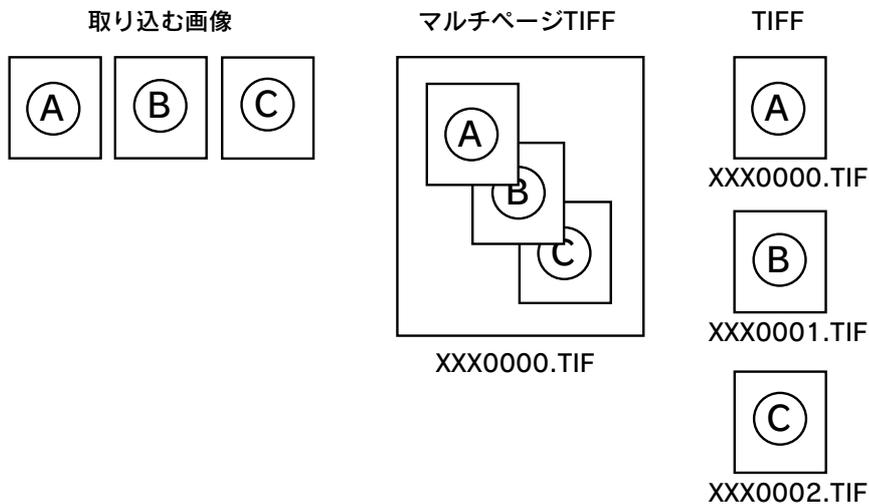
オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を使用して複数ページの画像を取り込む場合は、［マルチページ TIFF］を選択するか［TIFF］を選択するかによって、保存形式が次のように異なります。

・マルチページ TIFF：　取り込んだ複数の画像が 1 つのファイルの中に保存されます。
・TIFF：　取り込んだ画像ごとに 1 つ 1 つのファイルとして保存されます。

取り込む画像　マルチページTIFF　TIFF

A B C

XXX0000.TIF

XXX0000.TIF
XXX0001.TIF
XXX0002.TIF

詳細設定

JPEG、TIFF（モノクロ）を選択した場合は、詳細設定ができます。［詳細設定］ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

JPEG の場合

圧縮

画像の圧縮レベルを、スライダーを動かして設定します。低画質にすると圧縮率が高くなります。

エンコーディング

取り込んだ画像を Web で使用する（ホームページに貼り付ける）場合は、エンコード（記号化）方式を選択します。
Web で使用しない場合は、標準のままにしておいてください。

標準

インターネット上の画像を Web ブラウザで表示する際、イメージの先頭から順次転送して表示する方式です。この方式は、イメージの全体像を表示するまでに時間がかかります。

プログレッシブ

インターネット上の画像を Web ブラウザで表示する際、画像全体をまず粗く（低い解像度で）表示し、徐々に精細に表示していく方式です。
はじめは低解像度ですが、イメージ全体が表示されるため、全体像を素早く認識できるメリットがあります。

TIFF の場合

モノクロ画像の圧縮のあり／なしを選択します。
CCITT は、ファクシミリ互換形式です。

同名のファイル名があった場合は次の番号にする

初期設定ではこのチェックボックスがチェックされており、ファイルを保存するときに同名のファイルが存在する場合は、自動的に次の番号で保存されます。チェックを外すと、同名ファイルに上書き保存されますのでご注意ください。

イメージ保存後、自動でサムネイルを作成

このチェックボックスがチェックされていると、画像を取り込んだ後、サムネイルを自動的に作成します。

次回スキャン時にこのダイアログを表示する

このチェックボックスがチェックされていると、［ファイル］メニューから［TWAIN 機器からの取り込み］を選択したときに、まずこの画面が表示されます。
チェックが外されていると、［TWAIN 機器からの取り込み］を選択したときに、この画面を表示せずに TWAIN が起動します。この場合、取り込みの設定をするには、［ファイル］メニューから［TWAIN 機器の取り込み設定］を選択します。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

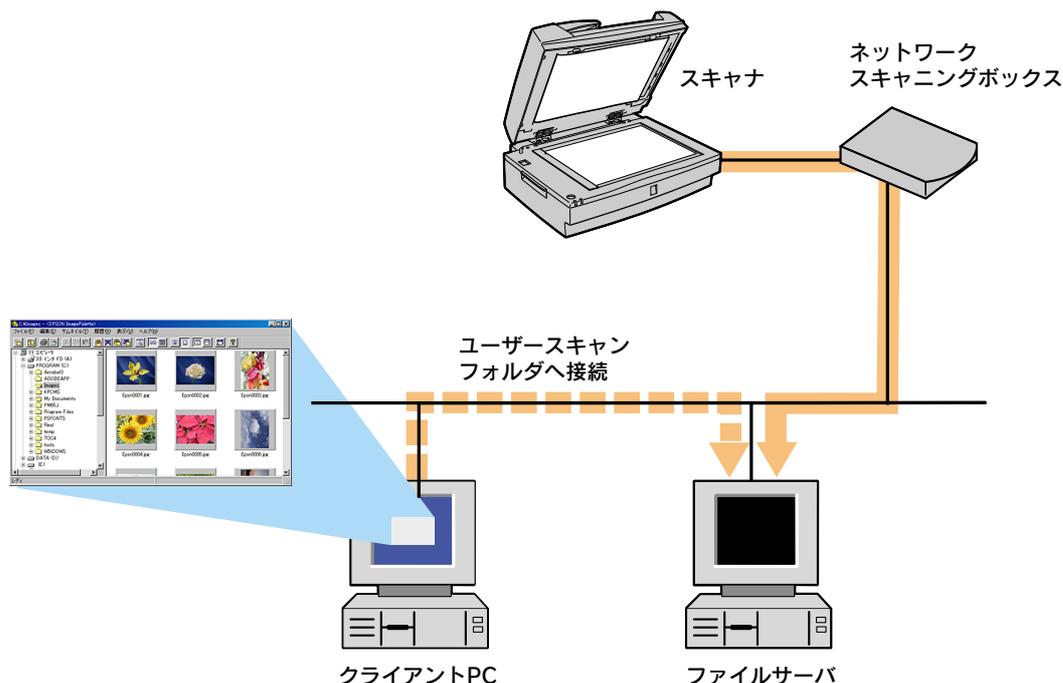
指定した TWAIN が起動します。
TWAIN の操作方法については、ご使用のスキャナに添付されている取扱説明書をご覧ください。

TWAIN のプレビュー画面上で、複数の取り込み枠を指定して取りこむことができます。その場合、1 つの取り込み枠ごとに別々のファイルに保存されます。

スキャナビボタンによる起動

Windows 98/2000/Me をお使いの場合は、スキャナのスキャナビボタンを押したときに、ScanPalette が起動するように設定できます。詳しい設定方法は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

ユーザースキャンフォルダへのショートカット作成

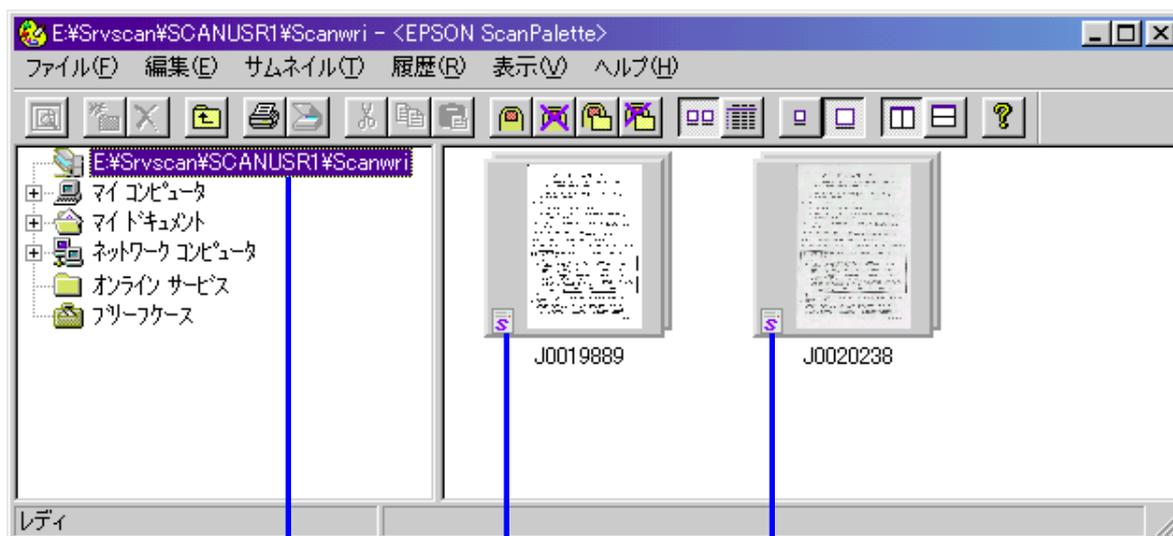
「ユーザースキャンフォルダへのショートカット作成」は、ネットワークスキャニングボックスまたは、サーバスキャン機能を持つコピーサーバを使用している場合のみご覧ください。
ネットワークスキャニングボックスまたはコピーサーバに接続されたスキャナから、ネットワークスキャニングボックスなどのパネル操作によって画像を取り込んでネットワーク上のサーバに保存する、サーバスキャンという機能があります。サーバスキャンによって取り込まれた画像は、ファイルサーバのユーザースキャンフォルダに保存されます。
ScanPalette 上にユーザースキャンフォルダへのショートカットを作成し、保存されたファイルへすばやくアクセスすることができます。

接続手順

1 ［ファイル］メニューから［サーバスキャンのフォルダ接続］を選択します。

［フォルダの参照］ダイアログが表示されます。

2 ユーザースキャンフォルダを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

メモ ユーザースキャンフォルダの名前は、サーバスキャンの設定をしたときに設定したものです。サーバスキャンの設定をした方にご確認ください。

ショートカットを作成すると、ユーザースキャンフォルダが次のように表示されます。

メモ 接続を解除するときは、[ファイル] メニューから [サーバスキャンのフォルダ接続解除] を選択してください。

ファイル形式の変換

ScanPalette には、次のファイル変換機能があります。

・サーバスキャンフォーマットを汎用の画像フォーマットに変換
・マルチページ TIFF を 1 ページ毎の TIFF ファイルに変換（分割）

また、ADF から取り込んだ画像を変換する場合は、変換時に、一括回転や並べ替えなどの処理を同時に行うことができます。
これらの変換機能は、サーバスキャンフォーマット、またはマルチページ TIFF のファイルを選択している場合のみ使用できます。

サーバスキャンフォーマットの変換

サーバスキャンフォーマットとは、ネットワークスキャニングボックスまたはコピーサーバのサーバスキャン機能によって取り込まれた画像の保存形式で、EPSON 独自の形式です。
ScanPalette は、サーバスキャンフォーマットに対応しています。しかしサーバスキャンフォーマットは EPSON 独自の形式のため、対応していないソフトウェアがあります。
ScanPalette で TIFF などの汎用的なフォーマットに変換することによって、サーバスキャンフォーマットに対応していないソフトウェアでも、画像を扱うことができます。

マルチページ TIFF の変換

マルチページ TIFF は、1 つのファイル中に複数の画像が収まった、TIFF 形式のファイルです。ファイル形式の変換によって、画像ごとの TIFF ファイルとして保存することができます。

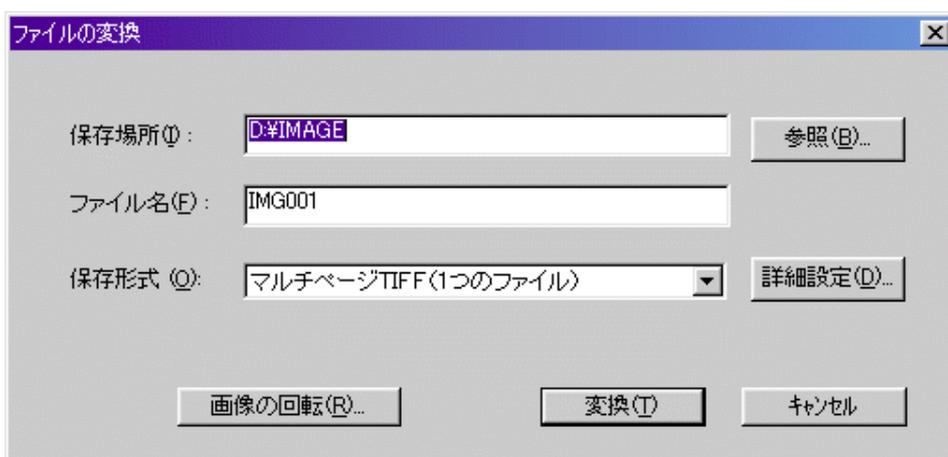
メモ 24bit を超えるカラー画像を TIFF 形式で保存する場合は、ファイル変換時に 24bit に減色されます。8bit を超えるモノクロ画像を TIFF 形式で保存する場合は、ファイル変換時に 8bit に減色されます。

変換方法

❶ 変換するファイルをクリックして選択します。

❷［ファイル］メニューから、［ファイルの変換］を選択します。

［ファイルの変換］ダイアログが表示されます。

❸［ファイルの変換］ダイアログでは、以下の設定をします。

保存場所

変換したファイルを保存するフォルダを指定します。
［参照］ボタンをクリックすると、一覧からフォルダを選択できます。

ファイル名

保存するファイルの名前を指定します。
サーバスキャンフォーマット、あるいはマルチページ TIFF ファイルを、単ページファイルに分割して保存する場合は、ここで指定したファイル名 + 3 桁の連番 の名前で保存されます。連番の開始は、常に「001」です。

保存形式

変換するファイル形式を選択します。
変換できるファイル形式は以下のとおりです。

元ファイル	変換可能な形式
マルチページTIFF	単ページTIFF
サーバスキャンフォーマット（TIFF形式のファイルを含む）	マルチページTIFF
	単ページTIFF
サーバスキャンフォーマット（JPEG形式のファイルを含む）	マルチページTIFF
	単ページJPEG

詳細設定

JPEG、TIFF（モノクロ）を選択した場合は、詳細設定ができます。[詳細設定］ボタンをクリックします。

JPEG の場合

圧縮

画像の圧縮レベルを、スライダーを動かして設定します。低画質にすると圧縮率が高くなります。

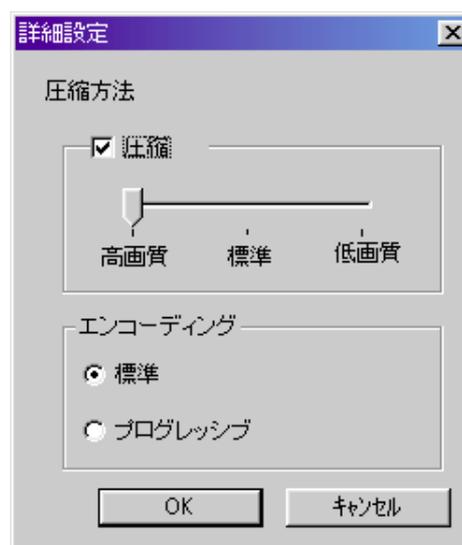
エンコーディング

取り込んだ画像を Web で使用する（ホームページに貼り付ける）場合は、エンコード（記号化）方式を選択します。
Web で使用しない場合は、標準のままにしておいてください。

標準

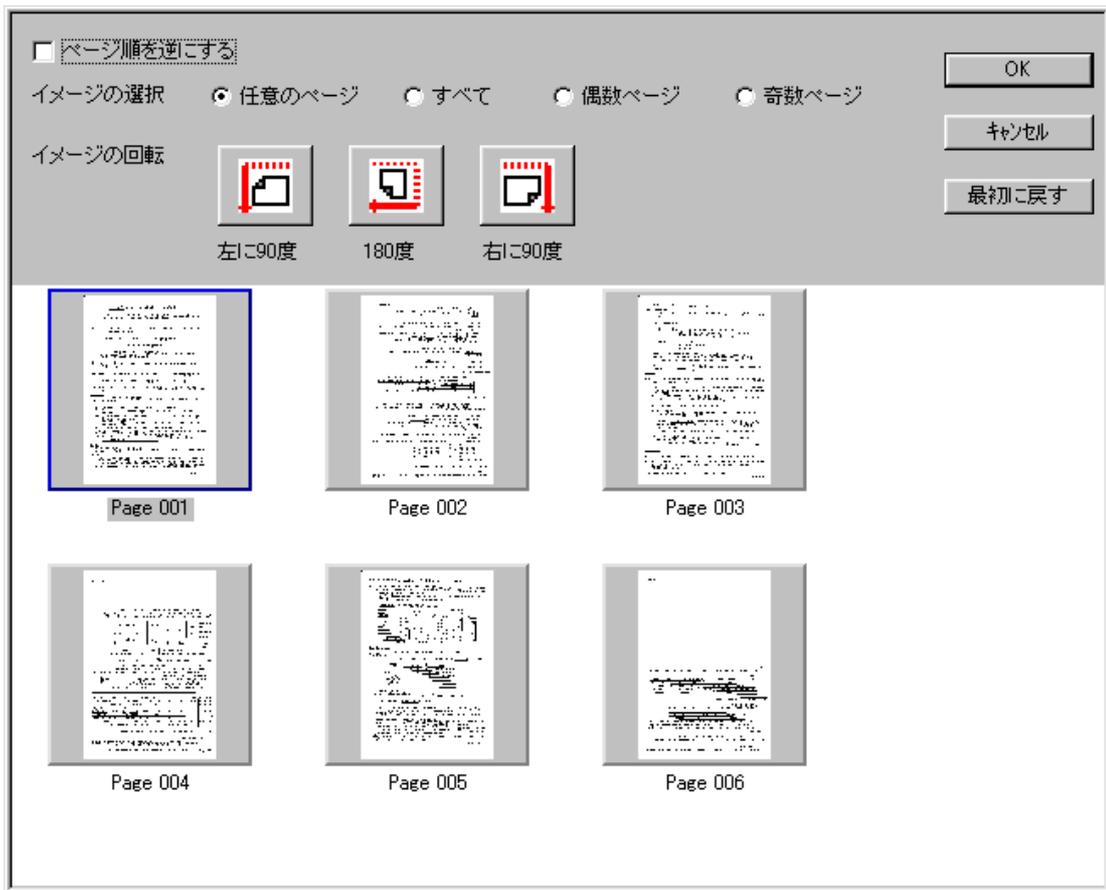
インターネット上の画像を Web ブラウザで表示する際、イメージの先頭から順次転送して表示する方式です。この方式は、イメージの全体像が表示されるまでに時間がかかります。

プログレッシブ

インターネット上の画像を Web ブラウザで表示する際、画像全体をまず粗く（低い解像度で）表示し、徐々に精細に表示していく方式です。
はじめは低解像度ですが、イメージ全体が表示されるため、全体像を素早く認識できるメリットがあります。

TIFF の場合

モノクロ画像の圧縮のあり／なしを選択します。CCITT は、ファクシミリ互換形式です。

❹ 画像を回転させる場合は、［画像の回転］ボタンをクリックします。

［画像の回転］ダイアログが表示されます。

ページ順を逆にする

A3 スキャナ用 ADF “ESA3ADF” から連続して原稿を取り込んだ場合、画像のページ順が逆になります。ここをチェックすると、ページ順を正しく並べ替えることができます。

イメージの選択 / イメージの回転

回転させるイメージと回転の角度を指定します。
［任意のページ］を選択した場合は、回転させるページを選択します。
複数のページを選択する場合は、以下の方法で選択します。
・ドラッグして複数の画像を囲むようにして選択します。
・［Shift］キーまたは［Ctrl］キーを押しながら画像をクリックします。

A3 スキャナにオプションの ADF を装着すると、原稿の両面（表面と裏面）を一度に取り込むことができます。A3 スキャナ用の ADF “ESA3ADF2” から原稿の両面を取り込んだ場合、原稿をセットする向きによっては、裏面が 180 度回転した状態、または全ページが 90 度回転した状態で取り込まれる場合があります。この機能を使うと、回転して取り込まれた画像を、一括して正しい向きに回転できます。以下の手順で行います。

1. ［イメージの選択］で、回転したいページを選択します。
2. ［イメージの回転］で、回転方向を選択します。

❺［OK］ボタンをクリックします。［ファイルの変換］ダイアログに戻ります。

［最初に戻す］ボタンをクリックすると、画像を回転する前の状態に戻ります。

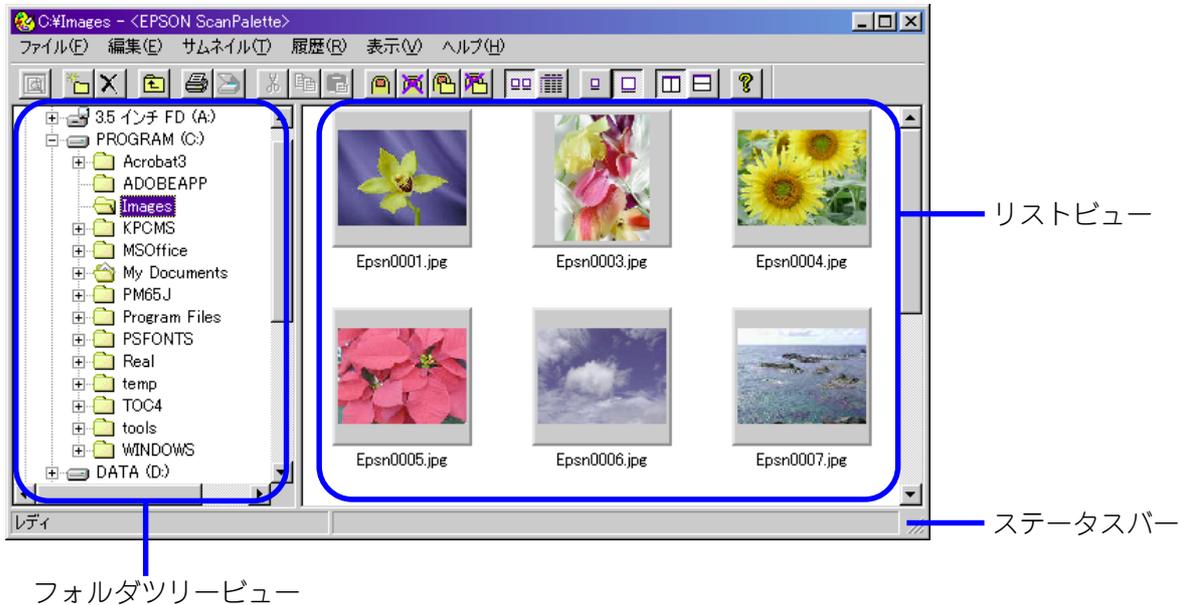
❻［変換］ボタンをクリックします。

設定した内容で画像が変換され、保存されます。

メモ
- 変換処理は、取り込んだ画像のデータ容量が大きいほど時間がかかります。
- 変換処理時間は、コンピュータのCPUが高速なほど、またメモリ容量が多いほど、短くなります。

画像ビューア機能

メインウィンドウ

メインウィンドウについて説明します。

フォルダツリービュー

画像を保存しているフォルダを選択します。

リストビュー

フォルダツリービューで選択しているフォルダ内の画像のサムネイル、または情報が表示されます。ScanPalette が対応している形式の画像ファイルのみが表示されます。

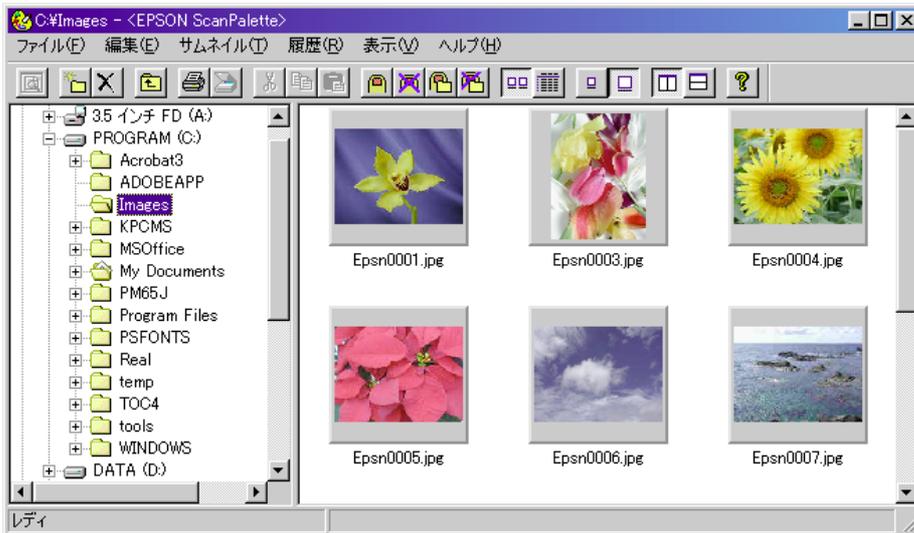
ステータスバー

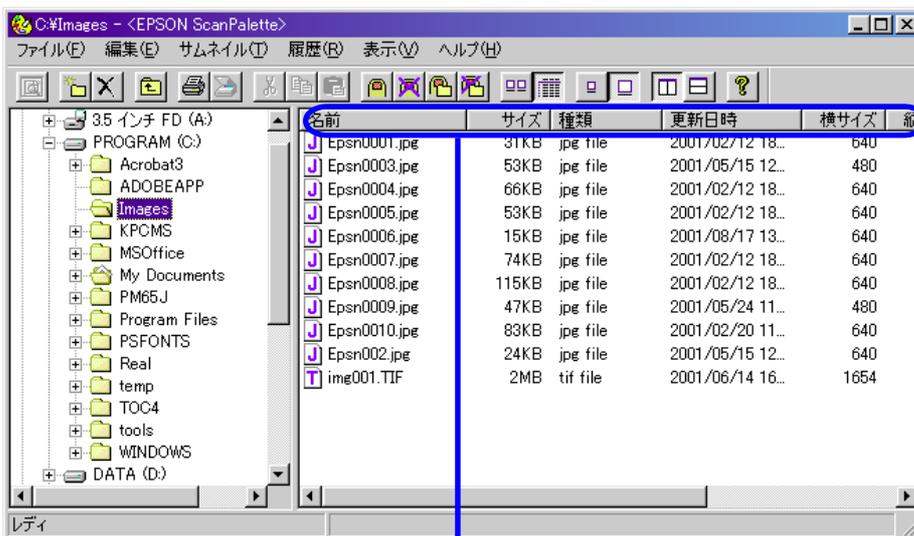
リストビューで選択している画像の情報が表示されます。

表示の切り替え

リストビューの画像の表示には、サムネイル表示／詳細表示の２種類があります。表示モードを切り替えるには、［表示］メニューから［表示モード］を選択します。

サムネイル表示

画像がサムネイル（小さい画像）とファイル名で表示されます。［表示］メニューの［画像表示サイズ］で、サムネイルの表示サイズを変更できます。

詳細表示

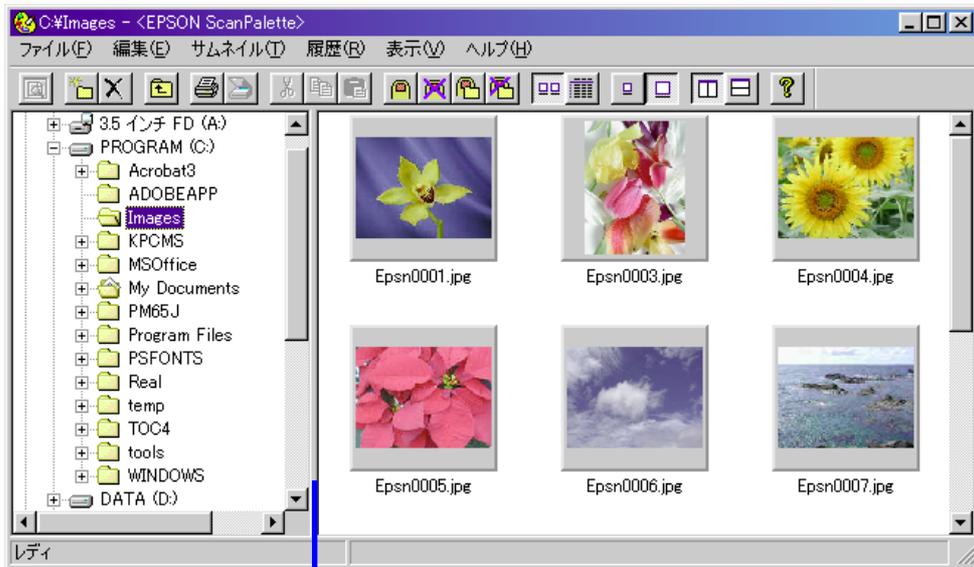
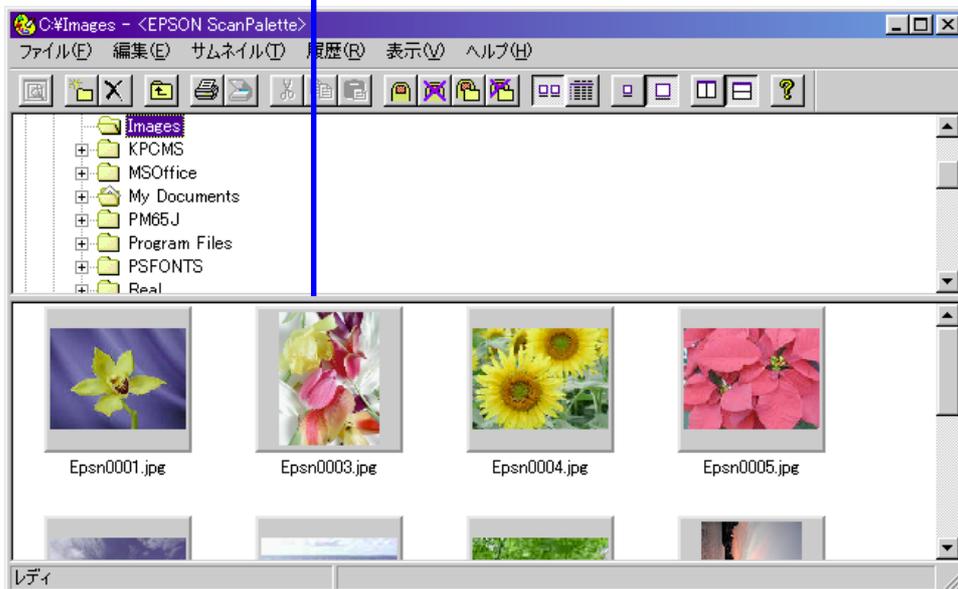
画像ファイルに関する詳細情報が表示されます。

表示項目のヘッダー部分をクリックすると、その項目をキーとしてファイルを並べ替えることができます。

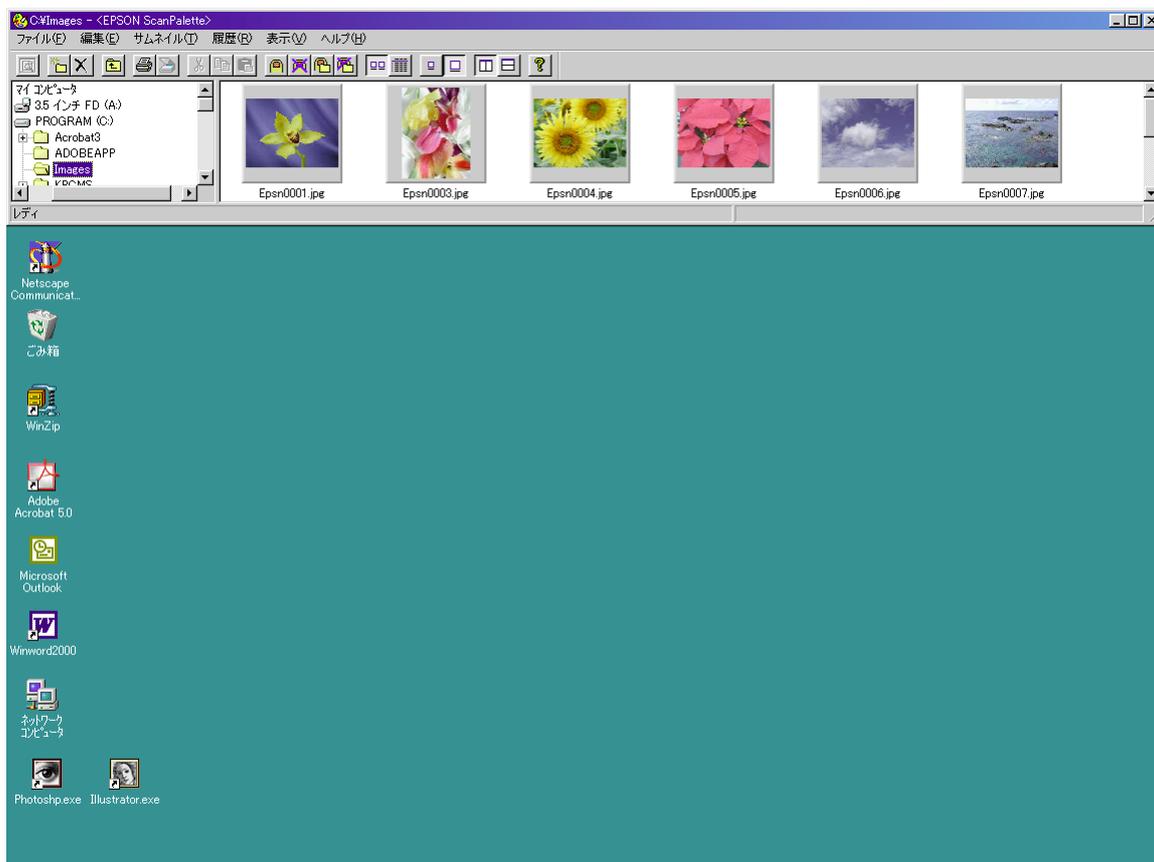
メモ　サムネイルを作成していない画像は、サムネイル表示にしても表示されません。サムネイルの作成については、「サムネイルの作成」を参照してください。

参照：サムネイルの作成（23 ページ）

ウィンドウの分割

フォルダツリービューとリストビューの配置を、上下／左右に切り替えることができます。表示を切り替えるには、［表示］メニューから［分割］を選択します。
フォルダツリービューとリストビューの境界にある分割バーをドラッグすると、境界の位置を任意に変更できます。

左右分割

一行表示

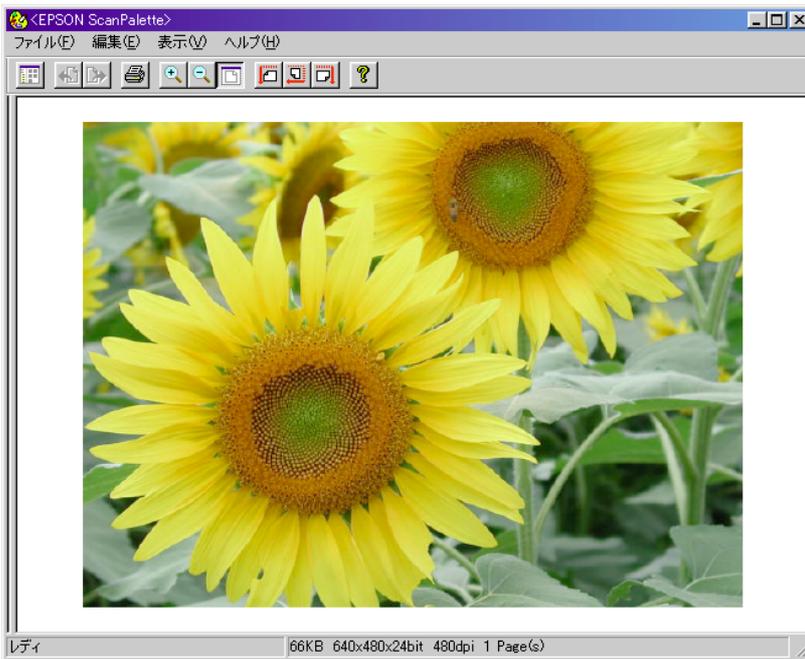
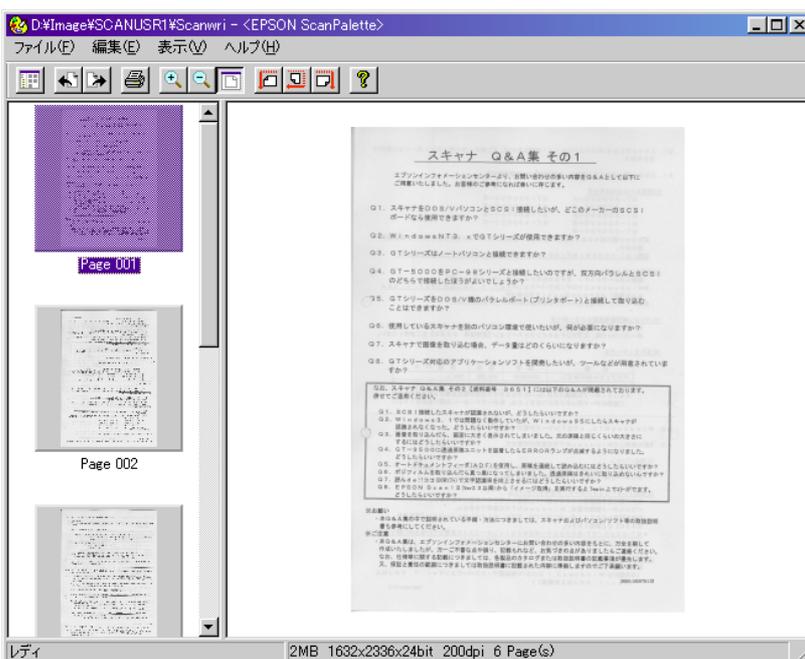
他のアプリケーションと同時に使用する場合は、ウィンドウを一行表示にすると便利です。一行表示にした場合、ウィンドウはデスクトップの上下、または左右に吸着します。
一行表示にするには、［表示］メニューから［一行表示］を選択します。
文書に画像を連続して貼り込む場合や、画像処理ソフトで画像を開く場合などに、簡単に操作できます。
一行表示は、表示モードがサムネイル表示の場合にのみ設定できます。

最新の情報に更新

エクスプローラなどでフォルダを新規作成した場合やCD-ROMなどを挿入した場合に、ScanPaletteに表示されているフォルダ情報と実際のフォルダ情報が一致しない場合があります。その場合は、［表示］メニューから［最新の情報に更新］を選択します。または、キーボードの［F5］キーを押します。

画像ビュー

メインウィンドウで画像をダブルクリックするか、［表示］メニューから［画像ビュー］を選択すると、表示が画像ビューに切り替わります。
画像ビューでは、選択した画像がより大きな画面で表示されます。

メモ
・メインウィンドウで複数の画像を選択している場合は、画像ビューに切り替えることはできません。
・画像ビューを表示するには、ハードディスクに、最低でも画像データ容量の2倍以上の空き領域が必要です。

単ページの場合

マルチページの場合

マルチページの画像ビューでは、左側に複数ページのサムネイル画像が表示され、右側に画像が表示されます。左側のサムネイルをクリックすると、右側に表示される画像が切り替わります。

をクリックすると、前後のページに表示が切り替わります。

をクリックすると、メインウィンドウに戻ります。

拡大／縮小表示

画像ビューの画像を、拡大または縮小表示するには、以下の方法があります。

・ツールバーの、またはをクリックします。
・［表示］メニューから［ズーム］-［表示したいパーセンテージ］を選択します。
・［表示］メニューから［ズーム］-［拡大］または［縮小］を選択します。

画像の回転

画像を回転させることができます。マルチページの画像ビューの場合は、選択した画像のみが回転します。
以下のどちらかの方法で、画像を回転させます。

・ツールバーの　をクリックします。
・［編集］メニューから回転する角度を選択します。

A3 スキャナ用の ADF“ESA3ADF2”から原稿の両面（表面と裏面）を取り込んだ場合、裏面が 180 度回転した状態で取り込まれる場合があります。画像の回転機能を使うと、180 度回転して取り込まれた裏面の画像を、正しい向きに回転できます。

・画像を回転した場合は、次ページを参照してファイルを保存してください。

・回転処理は、取り込んだ画像のデータ容量が大きいほど時間がかかります。

・回転処理時間は、コンピュータの CPU が高速なほど、またメモリ容量が多いほど、短くなります。

ページ順を逆にする

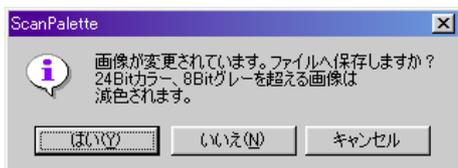
A3 スキャナ用 ADF “ESA3ADF”から連続して原稿を取り込んだ場合、画像のページ順が逆になります。この機能を使うと、ページ順を正しく並べ替えることができます。
［編集］メニューから［ページ順を逆にする］を選択します。

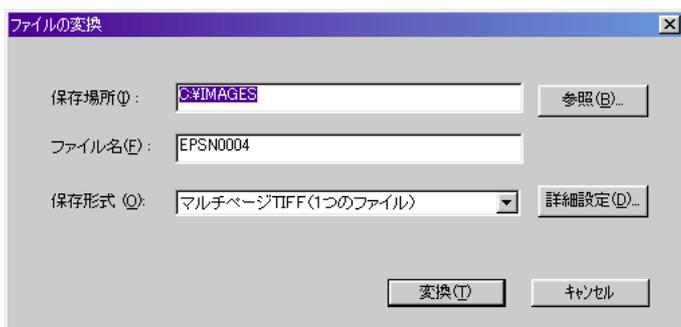
メモ　ページ順を逆にした場合は、次ページを参照してファイルを保存してください。

ファイルの保存

回転、またはページ順を逆にした画像を保存します。

❶ をクリックしてメインウィンドウに戻ります。

❷ 以下のダイアログが表示されますので［はい］ボタンをクリックします。

メモ　24bit を超えるカラー画像を TIFF 形式で保存する場合は、24bit に減色されます。8bit を超えるモノクロ画像を TIFF 形式で保存する場合は、8bit に減色されます。

❸［ファイルの変換］ダイアログが表示されますので、変換の設定をします。

保存場所

変換したファイルを保存するフォルダを指定します。
［参照］ボタンをクリックすると、一覧からフォルダを選択できます。

ファイル名

保存するファイルの名前を指定します。
サーバスキャンフォーマットまたはマルチページ TIFF ファイルを、単ページファイルに分割して保存する場合は、ここで指定したファイル名＋３ケタの連番 の名前で保存されます。連番の開始は、常に「001」です。

保存形式

サーバスキャンフォーマット、マルチページ TIFF フォーマットのファイルは、以下の保存形式が選択できます。その他の形式のファイルは、ファイル形式の変換はできません。

元ファイル	変換可能な形式
マルチページTIFF	マルチページTIFF
	単ページTIFF
サーバスキャンフォーマット（TIFF形式のファイルを含む）	マルチページTIFF
	単ページTIFF
サーバスキャンフォーマット（JPEG形式のファイルを含む）	マルチページTIFF
	単ページJPEG

❹［変換］ボタンをクリックします。

設定した内容で、画像が保存されます。

サムネイルに関する操作

サムネイルの作成

サムネイルの作成には、現在フォルダツリービューから選択しているフォルダのみを対象に作成する方法と、サブフォルダも対象に作成する方法の２種類があります。

選択しているフォルダのみを対象に作成する

❶ **サムネイルを作成する画像をリストビューから選択します。**

マウスでドラッグして選択するか、［Shift］キーか［Ctrl］キーを押しながらクリックすると、1度に複数の画像を選択できます。
ファイルを選択していない場合には、フォルダ中のすべての画像のサムネイルが作成されます。

❷ **［サムネイル］メニューから［サムネイルの作成］を選択します。**

サムネイルが作成されます。

サブフォルダも対象に作成する

サブフォルダも対象とする場合は、［サムネイル］メニューから［フォルダ以下のサムネイルをすべて作成］を選択します。

サムネイルの削除

サムネイルの削除には、現在フォルダツリービューから選択しているフォルダのみを対象に削除する方法と、サブフォルダもすべて対象に削除する方法の２種類があります。

選択しているフォルダのみを対象に削除する

❶ **サムネイルを削除する画像をリストビューから選択します。**

マウスでドラッグして選択するか、［Shift］キーか［Ctrl］キーを押しながらクリックすると、1度に複数の画像を選択できます。
ファイルを選択していない場合には、フォルダ中のすべての画像のサムネイルを削除します。

❷ **［サムネイル］メニューから［サムネイルの削除］を選択します。**

サムネイルが削除されます。

サブフォルダもすべて対象に削除する

サブフォルダもすべて対象とする場合は、［サムネイル］メニューから［フォルダ以下のサムネイルをすべて削除］を選択します。

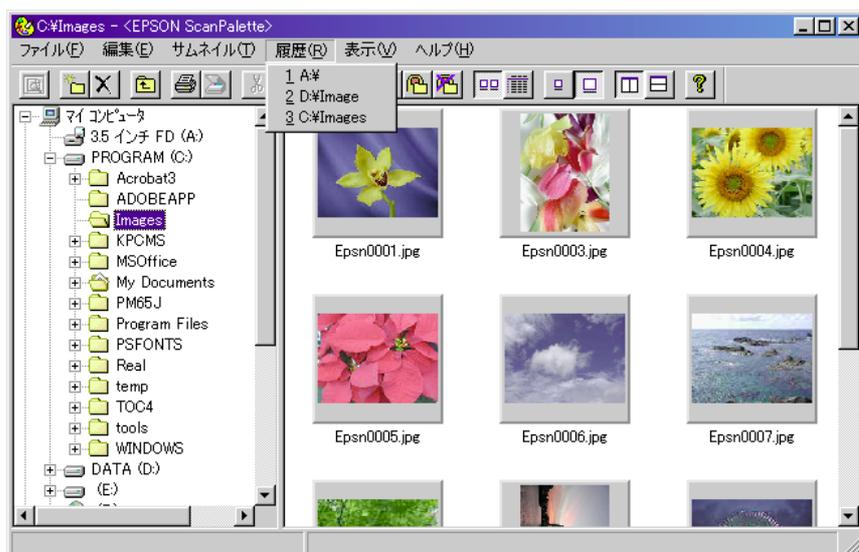
リムーバブルディスク情報

サムネイルを作成したことがあるリムーバブルディスクのボリュームラベルを一覧表示することができます。欲しい画像が入っている CD-ROM や FD などを探すときに便利です。

サムネイルファイルの整理

サムネイルのデータは、1 つのファイルにまとめて保存されます。
多くのサムネイルを作成すると、サムネイルのデータファイル容量が大きくなっていきます。また、サムネイルを削除しても、サムネイルデータ自体は残っています。
サムネイルのデータファイル容量を小さくしたい場合は、[サムネイル] メニューから [サムネイルの整理] を選択してください。削除済みのサムネイルデータが、データファイルから削除されます。
なお、[サムネイルの整理] を選択すると、現在コンピュータにセットされていない CD-ROM や、リムーバブルディスクのサムネイルデータも削除されますのでご注意ください。

サムネイルの履歴

サムネイルを作成したフォルダは、[履歴] メニューに最大 10 個までリスト表示されます。[履歴] メニューからフォルダを選択すると、選択したフォルダの内容がリストビューに表示されます。

サムネイルを自動作成

サムネイルを自動的に作成するには、[サムネイル] メニューから [サムネイルを自動作成] を選択します。
画像ファイルを新しく作成した場合や変更した場合に、サムネイルが自動的に作成されます。

アプリケーションへのファイルの貼り付け

ワープロソフトや画像編集ソフトなどのアプリケーションへ画像を貼り付ける方法を説明します。リストビューから画像をドラッグ＆ドロップするだけで、手軽に貼り付けることができます。
サーバスキャンフォーマットかつマルチページのファイルは、そのままでは他のアプリケーションへ貼り付けることはできません。他のアプリケーションに貼り付ける場合は、単ページ TIFF または単ページ JPEG に変換してください。
参照：ファイル形式の変換（11 ページ）

メニューコマンドで貼り付ける

画像ファイルの容量が 4MB 以下の場合は、メニューコマンドで貼り付けることができます。

❶ **リストビューから貼り付けたい画像を選択します。**

❷ **［編集］メニューから、［イメージをコピー］を選択します。**

❸ **他のアプリケーションで、［編集］メニューの［貼り付け］などを選択します。**

画像が貼り付けられます。

ドラッグ＆ドロップで貼り付ける

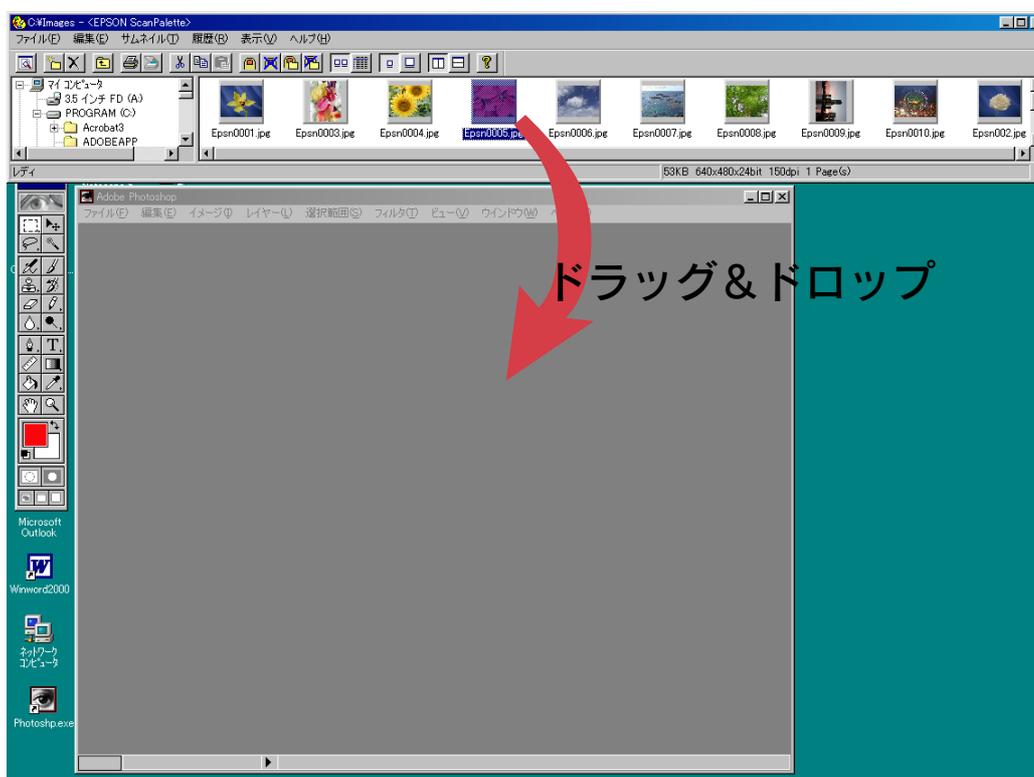
❶ リストビューに貼り付けたい画像を表示させせます。

❷ 画像を他のアプリケーションへドラッグ＆ドロップします。

画像が貼り付けられます。

・ScanPaletteのウィンドウを1行表示にしておくと、連続して画像を貼り付ける際に便利です。

・マルチページTIFFファイルをドラッグ＆ドロップした場合は、1ページ目のみ貼り付けられます。

・受け側のアプリケーションによっては、画像が貼り付かずに、画像ファイルのアイコンが貼り付く場合があります。

画像ファイルの管理

画像ファイルの管理に関する操作を説明します。Windows のエクスプローラ同様、メニューコマンドやドラッグ＆ドロップによって、画像の移動やコピーができます。画像の削除、名前の変更などの操作も行えます。

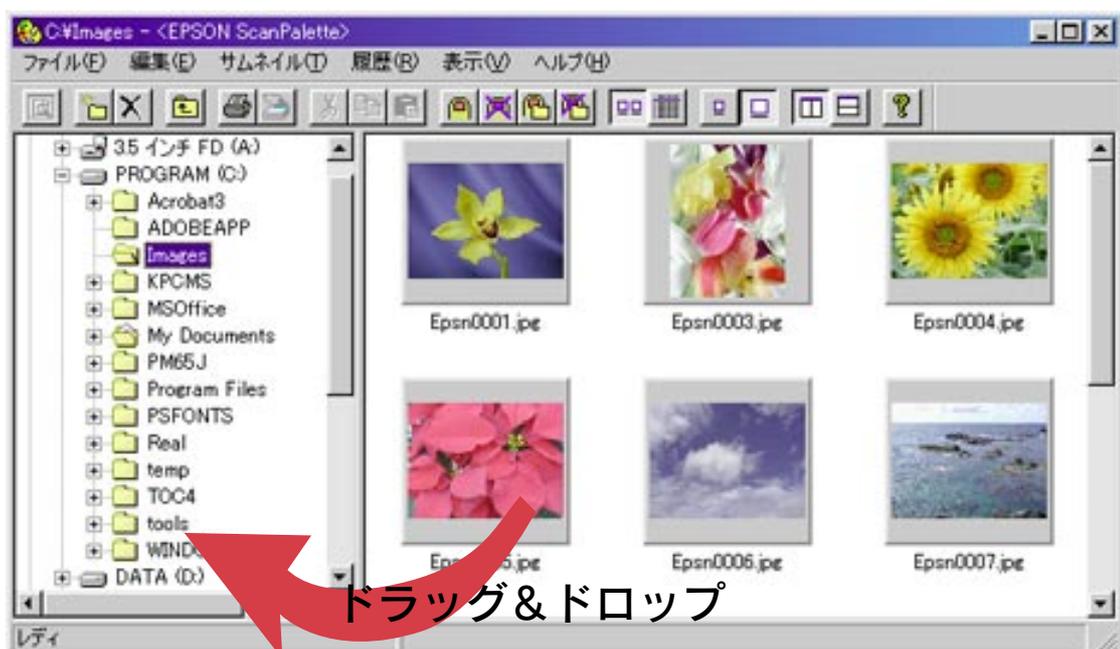
画像の移動

Windows のエクスプローラと同様、メニューコマンドやドラッグ＆ドロップによって移動することができます。移動できるのは画像だけです。フォルダを移動することはできません。
サーバスキャンフォーマットのファイルは移動できません。移動の操作が行われた場合は、ファイルがコピーされます。

メニューコマンドで移動する

1. リストビューから、移動する画像を選択（クリック）します。
2. ［編集］メニューから［切り取り］を選択します。
3. フォルダツリービューから、移動先のフォルダを選択（クリック）します。
4. ［編集］メニューから、［貼り付け］を選択します。

ドラッグ＆ドロップで移動する

1. リストビューから、移動する画像を選択（クリック）します。
2. フォルダツリービューの移動先のフォルダへ、画像をドラッグ＆ドロップします。

画像のコピー

Windows のエクスプローラと同様、メニューコマンドやドラッグ＆ドロップによってコピーすることができます。フォルダをコピーすることはできません。
サーバスキャンフォーマットのファイルに対してコピーの操作を行った場合、マルチページ TIFF に変換されたファイルがコピーされます。

メニューコマンドでコピーする

❶ リストビューから、コピーする画像を選択（クリック）します。

❷［編集］メニューから、［コピー］を選択します。

❸ フォルダツリービューから、コピー先のフォルダを選択（クリック）します。

❹［編集］メニューから、［貼り付け］を選択します。

ドラッグ＆ドロップでコピーする

❶ リストビューから、コピーする画像を選択（クリック）します。

❷［Ctrl］キーを押しながら、フォルダツリービューのコピー先のフォルダへ画像をドラッグ＆ドロップします。

画像の削除

Windows のエクスプローラと同様に、画像またはフォルダを削除することができます。
画像を削除しても、サムネイルは削除されません。
参照： サムネイルに関する操作（23 ページ）

❶ リストビューから、削除する画像またはフォルダを選択（クリック）します。

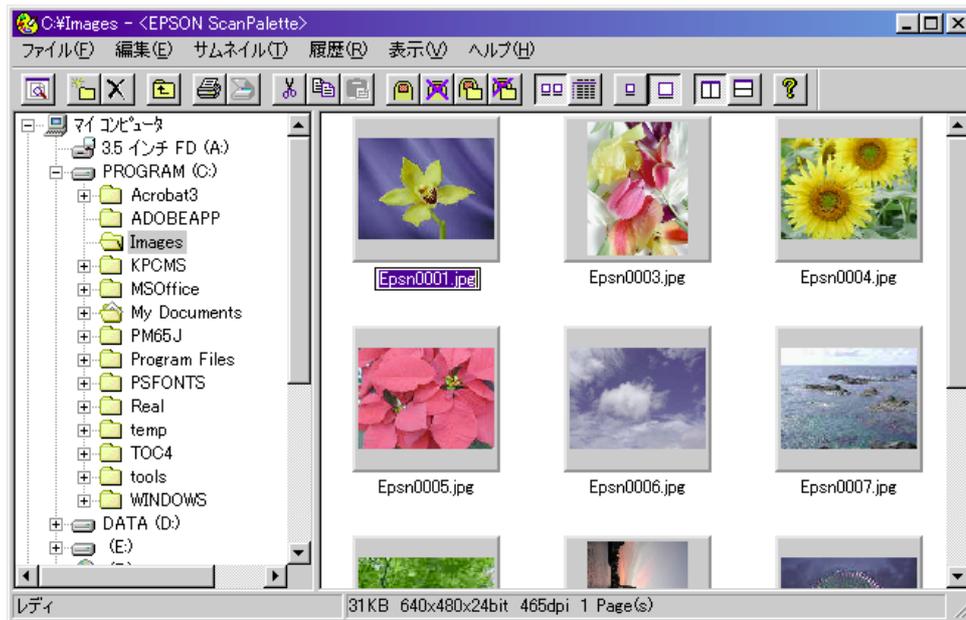
❷［編集］メニューから［削除］を選択します。

選択した画像またはフォルダが削除されます。

名前の変更

Windows のエクスプローラと同様、画像ファイルの名前を変更することができます。同様の方法でフォルダ名を変更することもできます。ただし、ユーザースキャンフォルダへのショートカットの名前を変更することはできません。

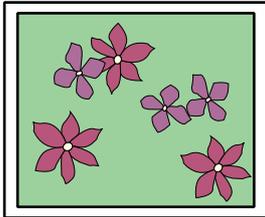
❶ **リストビュー上の、名前を変更する画像のファイル名の部分をクリックします。**

ファイル名を変更できるようになります。

❷ **新しい名前を入力して［Enter］キーを押します。**

画像の印刷

画像、またはサムネイルの印刷について説明します。
[単ページ印刷]、[全ページ印刷]、[サムネイル印刷] の３種類の印刷モードがあります。

単ページ印刷

画像

単ページ印刷では、選択した１つの画像や表示されている画像が印刷されます。以下の場合に選択できます。

・メインウィンドウで単ページの画像ファイルを選択しているとき

選択した用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷します。複数の画像を選択している場合は、画像を１ページ毎に印刷します。

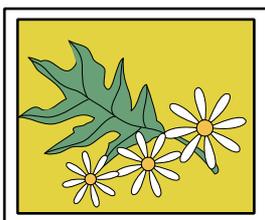
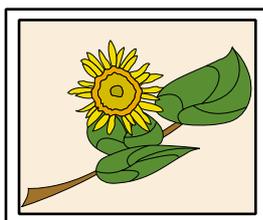
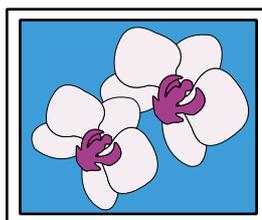
・画像ビューで、単ページの画像ファイルを表示しているとき

表示されている画像を、選択した用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷します。

・画像ビューで、マルチページの画像ファイルを表示しているとき

現在表示されている画像だけを、選択した用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷します。

全ページ印刷

画像１

画像２

画像３

全ページ印刷では、選択した複数の画像や、マルチページの画像を連続して印刷することができます。以下の場合に選択できます。

・メインウィンドウでマルチページの画像ファイルを選択しているとき

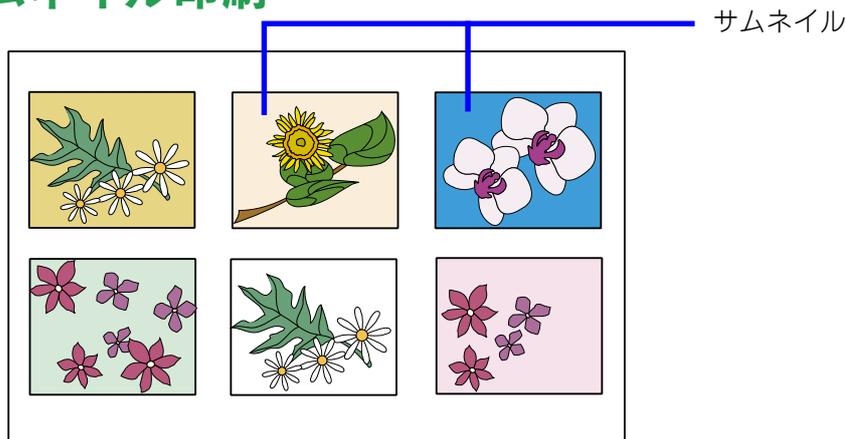
選択したファイルの全ページの画像を、選択した用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷します。

・メインウィンドウで、複数のファイルを選択しているとき

選択したファイルの画像を、選択した用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷します。マルチページの画像ファイルの場合は、全ページを印刷します。

・画像ビューでマルチページの画像ファイルを表示しているとき

表示したファイルの全ページの画像を、選択した用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷します。

サムネイル印刷

フォルダに含まれるすべての画像ファイル、またはマルチページに含まれる画像をサムネイル化して印刷します。以下の場合に選択できます。

・メインウィンドウで単ページの画像ファイルを選択しているとき

選択したファイルがあるフォルダ内の全画像をサムネイル印刷します。

・メインウィンドウでマルチページの画像ファイルを選択しているとき

選択したファイルがあるフォルダ内の全画像をサムネイル印刷します。マルチページの画像は、最初のページのサムネイルが印刷されます。

・メインウィンドウで画像ファイルが入ったフォルダを選択しているとき

フォルダ内の全画像をサムネイル印刷します。マルチページの画像が含まれている場合、最初のページのサムネイルを印刷します。

・メインウィンドウで複数のファイルを選択しているとき

選択したファイルがあるフォルダ内の全画像をサムネイル印刷します。

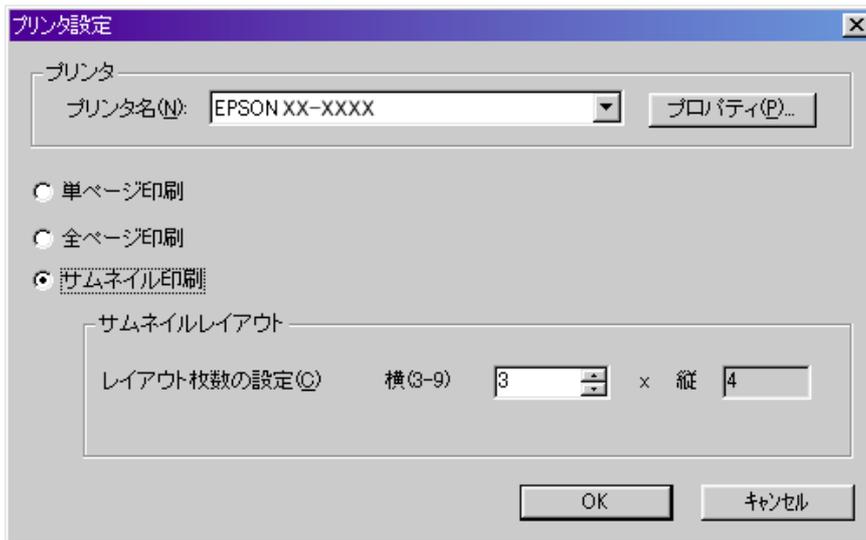
・画像ビューでマルチページのファイルを表示しているとき

選択したファイルに含まれる画像をサムネイル印刷します。

印刷手順

❶ **印刷する画像を選択するか、画像ビューに表示します。**

❷ **［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［プリンタ設定］ダイアログが表示されます。

❸ **［プロパティ］ボタンをクリックします。**

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

❹ **印刷の各種設定を行います。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。**

❺ **［単ページ印刷］、［全ページ印刷］、［サムネイル印刷］のいずれかを選択します。**

❻ **［OK］ボタンをクリックします。**

印刷が始まります。

メモ　Adobe Acrobat をインストールしている場合、［プリンタ名］リストで Acrobat PDF Writer を選択して印刷すると、PDF ファイルが作成されます。